

2 目標達成計画

事業所名 孝養ハイツグループホーム

作成日：平成 22 年 4 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	立地的なこともあり、地域住民とのつながりはまだうすい。	施設から地域に出向いて行く機会を積極的に作っていく。	①地域行事に準備段階より参加、協力する。 ②地区の活動等に住民の一員として、出来る範囲で参加する。(草取り、ゴミ拾い等) ③地域とグループホーム共催のお茶のみ会を定期的に行う。	12 か月
2	10	利用者や利用者家族が改まって意見や要望を出すことは少ない。面会時の近況報告の会話の際に聞かれた言葉等を申し送りや口頭で職員間で共有し、検討実施するようにしている。	利用者や利用者家族が意見や要望を話しやすい、又出しやすい環境(システム)を作る。	①利用者に対して、日常生活上の簡単なアンケートを実施して、満足度を把握し、不足な部分是对応策を早急に検討、対応する。 ②利用者家族に対して、毎月1階写真入りのたよりを担当介護士より出す。 ③家族への意見や要望を書いて頂く用紙や簡単なアンケートを同封する。 ④グループホームの広報を出す。	12 か月
3	4	運営推進会議では、施設からの報告のみにとどまっている。具体的な意見の集約には至っていない。	グループホームの理解や認知症をもった利用者とのふれあいを通して、より地域に合った活動を検討、展開する。	①運営推進会議と抱き合わせて、利用者との交流目的の行事(収穫祭等)を実施する。 ②他のグループホームの見学や運営推進会議委員との交流の場を設けて意見交換をして今後の活動に活かす。 ③各種団体の代表者を招いて話し合いを持ち、有意義な活動への助言や協力を依頼する。	12 か月
4					か月